

**実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラムに係る実践研究
実施方法等**

1. 実践校について

実践校名	(ぐんまけんりつよしいこうとうがっこう) 群馬県立吉井高等学校		
学科名	生徒数	学級数	
総合学科	467	12	

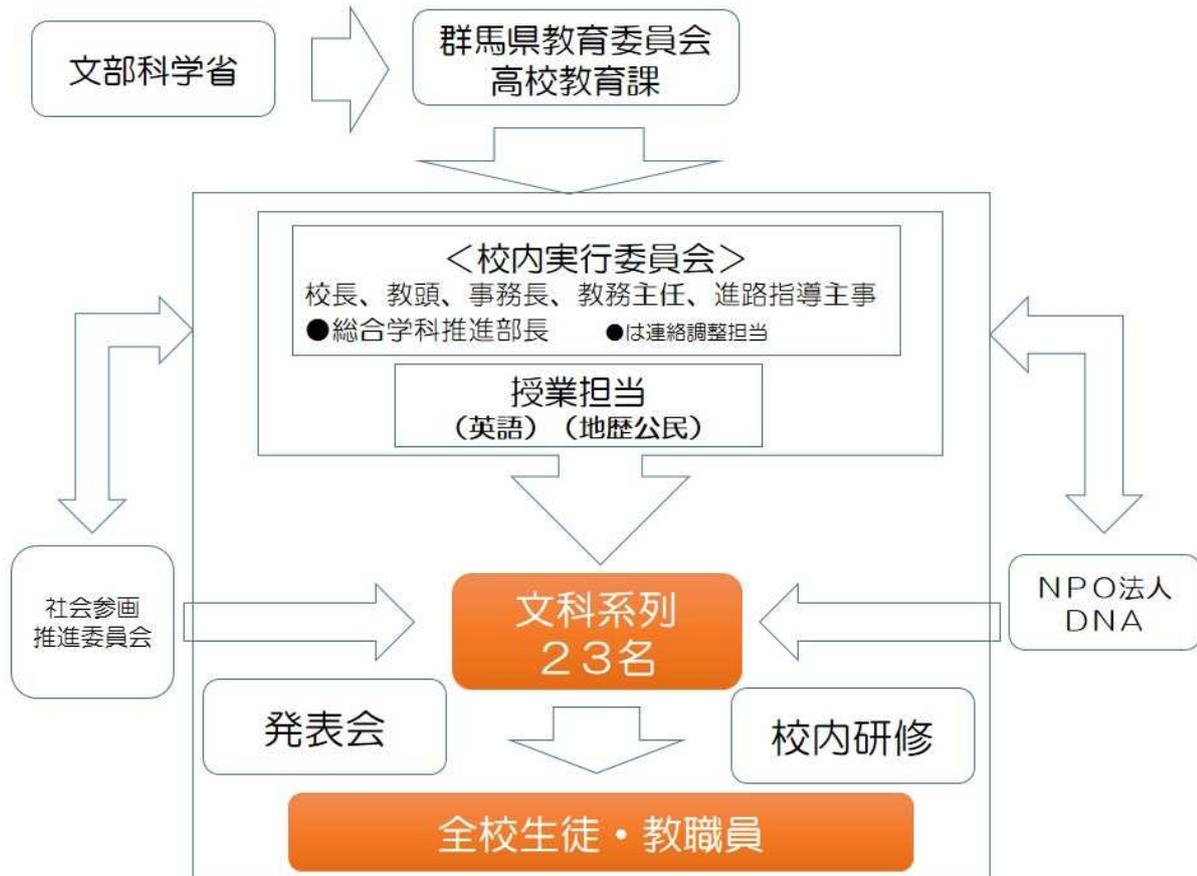
2. 実践研究の対象

3年生の選択希望者23名

3. 実践研究の実施経過

- 4月 オリエンテーション
 グループワークの練習・学習の土台作り
- 5月18日 ゲストティーチャーとの対話、講義①
 社会参画推進委員 亀田慎也さん、
- 6月 1日 ゲストティーチャーとの対話、講義②
 社会参画推進委員 佐藤由美子さん
- 6月15日 ゲストティーチャーとの対話、講義③
 社会参画推進委員 福田 小百合さん
- 8月19日 事業所訪問 佐藤病院（産婦人科）
- 9月21日 ゲストティーチャーとの対話、講義③
 社会参画推進委員 坂本 祐子さん
- 10月 5日 大人インタビュー① 先生インタビュー
- 10月20日～25日
 大人インタビュー（校外学習）
- 11月 まとめ、発表準備
- 12月14日 学年発表会（ポスターセッション）
- 1月13日 公開授業・授業発表会
- 1月25日 学習成果発表会・群馬県内総合学科発表会での発表

4. 実践研究の実施体制



5. 教育委員会等として取り組んだ内容

群馬県教育委員会では、すべての県立高校で生徒が主体的・協働的に課題解決型の授業導入を推進する「群馬県高校生ステップアップサポート事業」を平成27年度より実施し、各校の研修コーディネーターを対象とした研修会、進路指導主事対象の連絡協議会等において指導を行うとともに、学校訪問の全体協議において課題解決型の授業の推進について説明を行うなど、本実践と関連させて取り組んできた。今後、活動を実践してきた教員が、培ったノウハウを県内各高校へ水平展開し、県内の主権者教育が一層充実することを期待している。

6. 実践研究の評価等

生徒のアンケートなどでは、「人口減少社会」についての知識の深化とともに、結婚や出産、家事育児といったライフキャリアの中で重要なイベントについての知識、理解や興味・関心が高まったことが見て取れる。また、グループワークを繰り返し行う中で、コミュニケーション能力や協働性が高まったと感じている生徒も多くみられる。

授業を始めた当初は、自分の意見を言うことや発表することに対して苦手意識を持っている生徒が多かったが、グループワークや発表活動を繰り返し行う中で、自分の意見や思考を外化することに慣れ、発表も格段に進歩した。発表会ごとに校長先生をはじめ多くの先生方に参観してもらい、高評価を得た。

1月には、県内外の学校関係者が参加しての公開授業と発表会を行った。生徒は、多くの教員の前でも堂々と発表でき、参観して頂いた社会参画委員の方々からも高く評価された。

実社会との接点を重視した課題解決型学習プログラム（概要）

実践校名：群馬県立吉井高等学校（総合学科）

概要

3年生の課題研究として行っている総合的な学習の授業で、「人口減少社会におけるライフキャリアを描く」をテーマとして、人口減少社会を理解し、その中で生きていく上でどのようなライフキャリアを描くのかについて興味関心を高めるためのグループワークを行った。また、実際に社会に生きる人たちに出会い、インタビューを通して学んだことをまとめて発表する活動を行うとともに、一年間の学習で学んだことや自分のライフキャリアについて感じたことを発表する実践研究を行った。授業は週に2時間、本校教員2名（英語科、地歴公民科）で行い、コーディネーターとしてNPO法人DNAのスタッフが毎時間授業に携わった。

学習プログラムのねらい

- グループワークを通して、相手の話を聞き、自分の考えを述べる力を育成する。
- 課題解決型の学習を通して、課題を発見し、その解決に向けて考え抜く力を育成する。
- 社会の仕組みを知り、自分のライフキャリアの様々なイベントを理解した上で、理想的なライフキャリアの描き方を考える。

学習プログラムの主な内容

① 主体的、対話的な学習形式

人口減少社会という高校生にとって身近ではないテーマについて、生徒が主体的に考えられるように、身近な話題などを取り上げてグループ内で対話する形式の学習活動を多く取り入れた。

② ゲストティーチャーとの対話、講義

社会参画推進委員による講義や対話を行い、結婚や家族、子育てについての実体験を聞いた。

③ 事業所訪問

夏休みに高崎市にある産婦人科の佐藤病院を訪問し、出産の現場を見学するとともに、今育児をしている人の話を聞き、生後数日の赤ちゃんをだっこするなどの育児体験を行った。その後、DNAの大学生メンバーと体験を共有するグループワークを行った。

④ 大人インタビュー

社会で働きながら、育児や家事に携わっている社会人にインタビューを依頼し、4つのグループに分かれてインタビューを行った。それぞれのインタビューでは高校時代から現在に至るまでの経験や育児や家事に関すること、仕事に関することをインタ

ビューした。インタビュー内容をグループごとにまとめ、ポスターセッションによる発表会を行った。

学習プログラムの成果の概要

- グループワークを継続して行った結果、すべての生徒が話を聞く力や自分の意見を述べる力が身に付いたと答えている。
- ゲストティーチャーとの対話や講演を聞く中で、人口減少社会の背景となっている結婚や子育て、家族についての諸課題を自分の問題と捉え、興味を持って自分のテーマを選ぶことができた。
- 発表活動では、全てのグループが1月13日の公開授業で多くの参観者に向けて発表を行い、高評価を得た。また、1つのグループが学校を代表して県内の総合学科高校の発表会と学習成果発表会で発表し、本研究の取組を全校生徒に対して共有できた。
- 最初は人口減少社会という馴染みのないテーマにとまどっていた生徒も、コーディネートをしてくれたDNAメンバーの努力もあり、積極的に活動に取り組み、発表では色々な工夫をして、聞いている人に多くのことを伝えようとする姿勢が見えた。